

No. 19-308

第18回 評価・診断に関するシンポジウム

主催 日本機械学会 機械力学・計測制御部門

合同企画 機素潤滑設計部門

共催 日本設備管理学会・日本トライボロジー学会

協賛 (予定) : 化学工学会, 計測自動制御学会, 精密工学会, 電気学会, 日本原子力学会, 日本高圧力技術協会, 日本材料学会, 日本鉄鋼協会, 日本非破壊検査協会, 日本プラントメンテナンス協会

開催日 : 2019年11月28日(木)~11月29日(金)

会 場 : 大阪市立大学 学術情報総合センター 10F 大会議室 (大阪市住吉区杉本 3-3-138)

開催趣旨 :

日本機械学会, 日本設備管理学会, および日本トライボロジー学会では, 安全・安心で持続可能な社会のための「評価」「診断」に関心を持つ研究者・技術者が集まり, 分野・業種・産官学の垣根を越えて, ニーズとシーズの情報を交換する場を提供することを目的に, 標記シンポジウムを開催いたします.

本シンポジウムでは, 参加される方々がお互いに技術・学術交流を深めるため, 一般講演における質疑・討論をパネルセッション形式で行います. 15分/件の口頭発表終了後, 4件程度をまとめて, 別途展示したパネルの前で, 参加者との30分程度の質疑・討論をお願いします. 関連企業及び大学研究室による機器の展示も歓迎します. 詳細は一般講演のプログラム及び「講演者への案内」でご連絡いたします.

「評価, 診断, 保全, メンテナンス」をキーワードに, 多くの研究者・技術者にご参加いただきますよう, ご案内いたします.

講演募集分野 : 非破壊検査, 保守検査, 異常検知, センサー技術, 信号処理, 計測, 評価, 診断, モニタリング, メンテナンス, 管理運用, 事例紹介

講演申込締切日 : 2019年8月26日 (月)

【重要なお知らせ】講演発表資格について

日本機械学会では, 2017年4月以降に開催される研究発表講演会の講演資格を会員 (または協賛・後援団体のうち, 研究発表に関し日本機械学会会員が同等の扱いを受けることが確認できている団体の会員) に限定することになりました.

・「研究発表資格の見直し」と「学生会費の改定」について

<http://www.jsme.or.jp/kaihi/minaoshi/kanren.html>

これにともない, 2017年より本シンポジウムの登壇者は次の方に限ります.

1. 日本機械学会の個人会員・学生員 (特別員資格では不可となります)
2. 共催団体 (日本設備管理学会・日本トライボロジー学会) の会員

(日本設備管理学会は、研究室会員含む)

3. 協賛団体のうち、研究発表に関し日本機械学会会員が同等の扱いを受けることが確認できている下記団体の個人会員

計測自動制御学会，精密工学会，電気学会，日本非破壊検査協会

上記に当てはまらない方で登壇予定の場合は、お早めに「入会手続」と「入会金・会費のご送金」をお済ませください。

(入会申込はこちらから <https://www.jsme.or.jp/member/register-application/individual-member/>)

講演申込方法：

次の要領にて必要事項をEメールで下記の申込先までお送りください。なお、詳細は「診断・メンテナンス技術に関する研究会」のホームページをご参照ください。

ホームページアドレス：<http://diagnosis.dynamics.mech.eng.osaka-cu.ac.jp/>

(1) 講演題目，(2) 要旨 (200 字程度)，(3) 著者名 (登壇者は名前の前に○印)，(4) 勤務先，(5) 登壇者の所属学協会，(6) 登壇者の会員番号，

(7) 連絡先 (郵便番号，住所，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス)

※ 発表の採否につきましてはシンポジウム実行委員会に御一任ください。9 月中旬までにご連絡いたします。

講演原稿締切日：2019 年 10 月 15 日 (火)

様式については、発表採否の連絡時にご案内する書式を参照の上で作成してください。

A4 サイズ 2 頁～6 頁とします。

申込先：

第 18 回評価・診断シンポジウム実行委員会

大阪市立大学大学院 工学研究科 機械物理系専攻 高田 洋吾

E-mail: takada@eng.osaka-cu.ac.jp